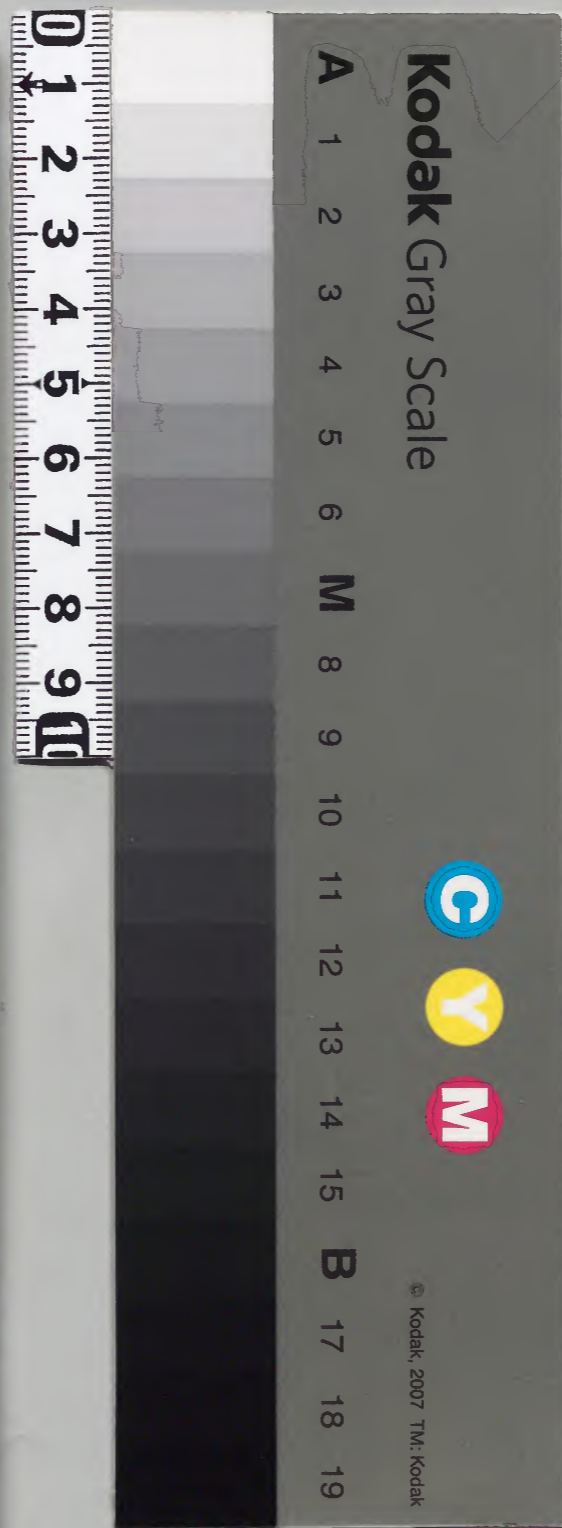


高山春草隆景福原自後口羽通良傳判

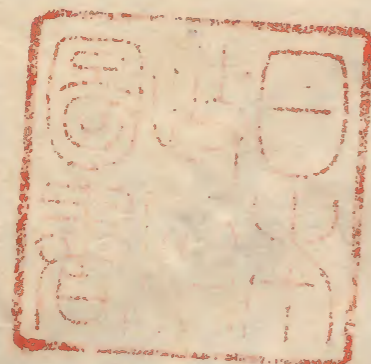
内閣文庫			和
天の齒	四	二七の二	書
三架	五冊	二號	類

内閣文庫	
番號	和 2702
冊數	45 (20)
函號	160 103

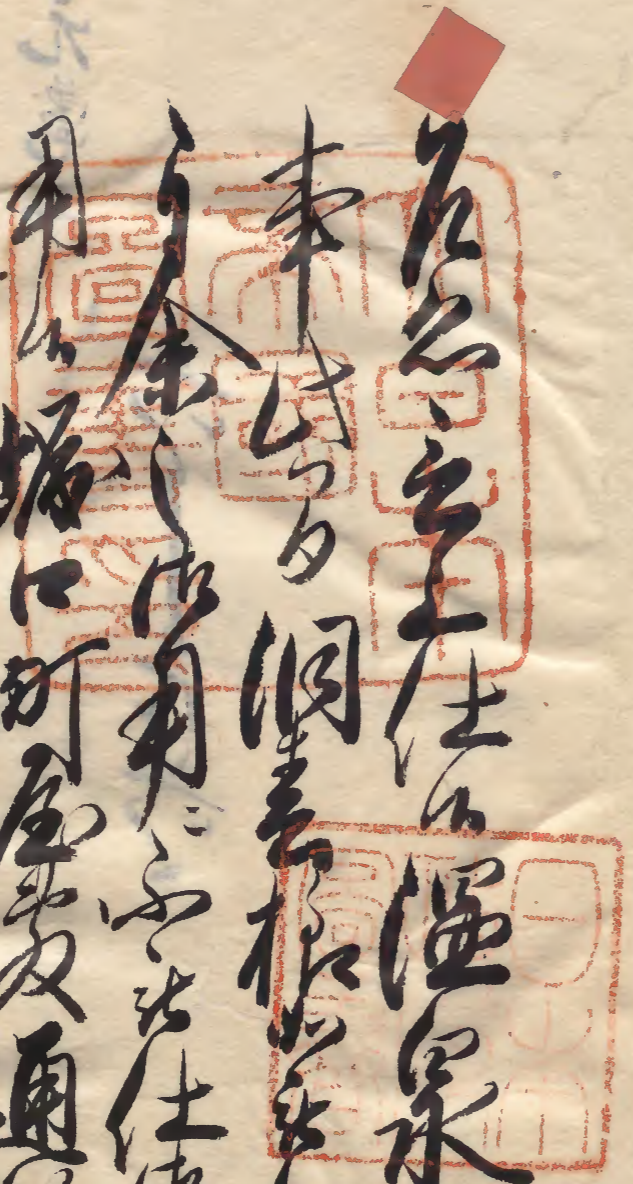


糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

吉川元春小早川隆景福原貞俊口羽通良連判



名之之正法の 滙泉報心正心
 事はつる 洞書報心正心
 余は 洞書報心正心
 用は 洞書報心正心
 此の 洞書報心正心
 洞書報心正心
 此の 洞書報心正心
 後先子七宮及計 集事在法道



明治十年購求

手紙後書
手紙の宛先
手紙の宛先
手紙の宛先
手紙の宛先
手紙の宛先
手紙の宛先
手紙の宛先
手紙の宛先
手紙の宛先

元龜二

六十一

隆宗 判

久俊 判

如良 判

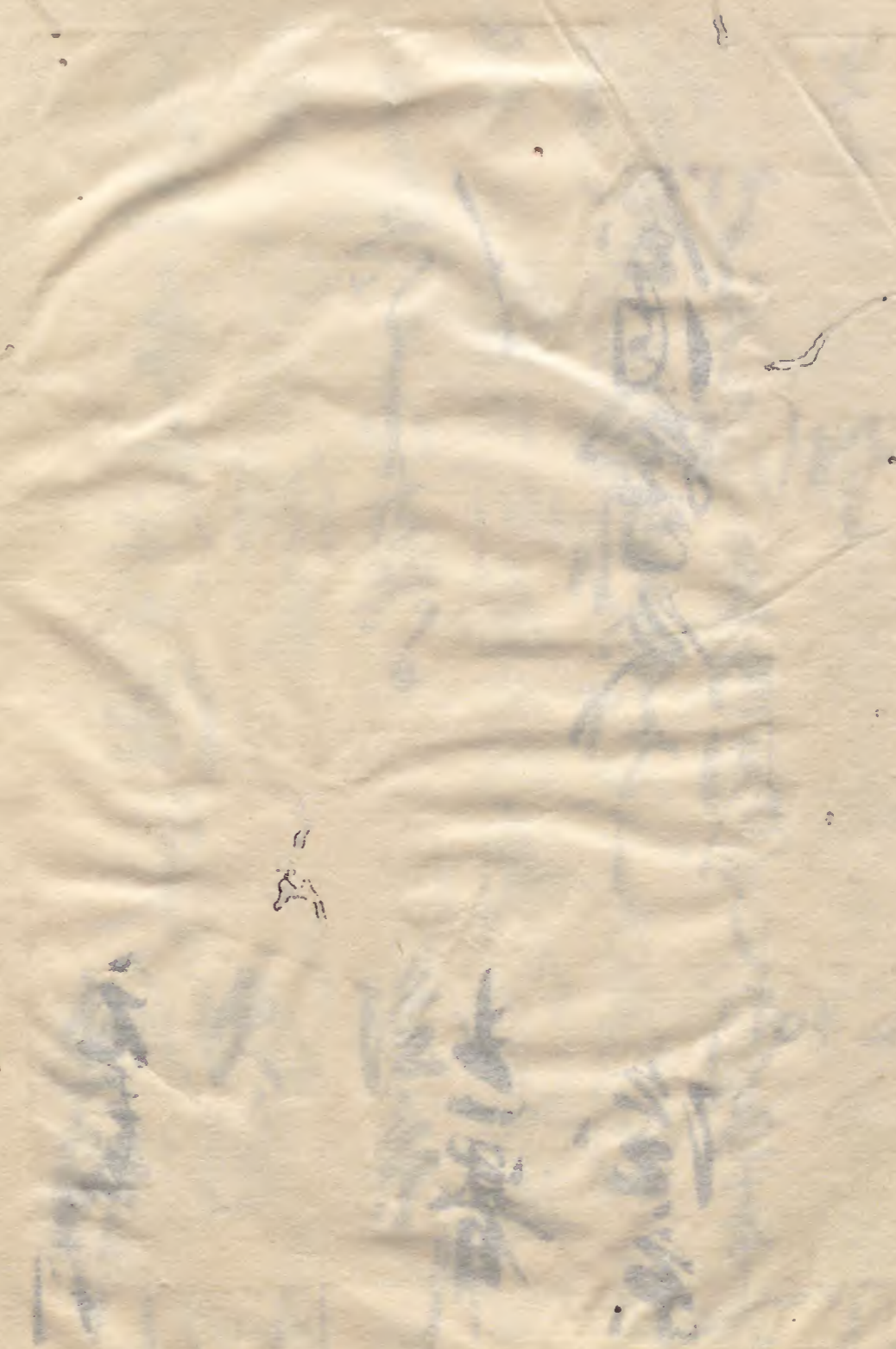
元龜 判

上署

隆宗

隆宗内宛及

防長及薩事 七子出先汗歴由
者あ村台の個成休は甚多夫夫礼
物言沙國成之印を縦一厘之字
細窪之者成は之は事 其以事彼
の是沙用名花名出及録方付之然
所人 夫成に人志成中乃成之
以り事勿海成之候南書江國
の事仁成行事之律成



印

隆宗

久俊

通良

元吉

國司

國司

隆宗

後河守
出好馬
左馬侍

法要書抄普信事
前抄先許
相彼
其
為其
一筆

卯十一言

隆宗

貞俊

國
...
...
...

通良 在判

之 在判

之 在判

連署

陸京

栗原内務之友
並主左之友

平友

抄

友人

陸京

此書抄らるる後其抄存分と云
沙家中所存之抄配當公家
久後通良一の後志候公家
沙幼末之也一通下等と云
存之友救ふに云死と云仁家

友内... 中... 細... 友

平友

元書 在判

隆京 在判

平友

友内

元書

裏

平友

水... 平... 友... 元書

沙家候方中

一沙家中の事毎々各池
以然や沙此を此書
多書之法に分し
沙法度成望園
力沙家々案
以所
候此と入
下我候

ト

一書家子の
此に候
は
ろ
ま
沙
今
沙

渡分一役氣多柳多存油乃公
委細定之重也申之公程苦事
亦無終之口之之性味

卯一六

元善 在判

隆系 在判

出市 沛

右系

後河

隆系

案内系

沛

近之沛内系之通系也此係
一存之自公

一当时世之趣一大事此然沛境

之沛系行不其也今我之沛事也

近年沛内系之公也

今も好通の毎事と云ふは
海に北に好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり
と云ふは好通の事なり

沙事一乃利家と云ふは
指通之何と云ふは
方角乃利家と云ふは
沙事一乃利家と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは
存尚と云ふは

中

隆泉 在判

元 在判

粟田

湯

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

妙善寺

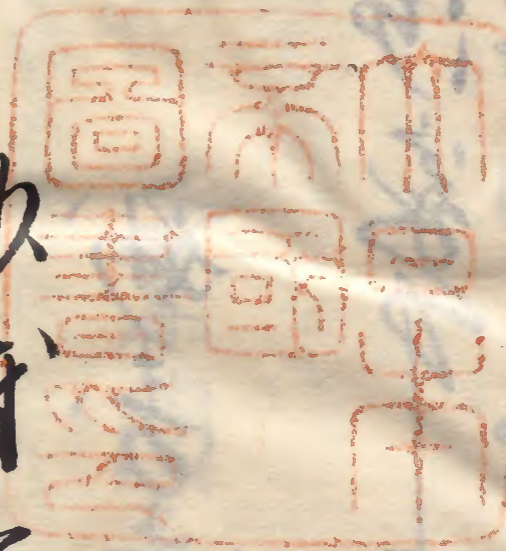
隆泉

在案
守
守

沙家
禪
成
寺

漢

五ノリ十二ノ



妙有寺御

隆平 在判

貞俊 在判

元善 在判



